

- 58.2. 環状銀河の測光学的構造について
- 58.3. 散開星団 NGC 188 の Color-Magnitude Diagram
- 58.4. 変光懷疑星  $\xi$  Per の光電測光
- 58.5. 太陽縁を用いた写真測光時の光のぶれの検出
- 58.6. H $\alpha$ -FILTER による太陽観測
- 58.7. 反射望遠鏡の光学性能検査
- 58.8. 光子計数方式による光電測光システムの製作研究
- 58.9. 三等経緯儀による天文経緯度の決定
- 59.1. 局部超銀河団における銀河の型の分布
- 59.2. 銀河団内における銀河の軌道の力学的変化
- 59.3. NGC 2300 と NGC 2841 の中心部における三次元構造解析
- 59.4. 変光懷疑星  $\xi$  Per 及び  $\epsilon$  Per の光電測光
- 59.5. 星間吸収帯  $\lambda$  4430 Å の強度のカタログと  $E(B-V)$  との相関について

- 59.6. 堂平観測所 91 cm 望遠鏡による近赤外域測光システムの開発
- 59.7. スペクトロヘリオグラフの高度化
- 59.8. 光子計数測光システムのソフトウェア開発
- 59.9. 画像処理システムの試作とその活用方法
- 60.1. 光電測光によるオリオン領域の星の研究
- 60.2. テレビカメラによるハレー彗星の2次元画像測光観測
- 60.3. 光子計数方式の光電測光による星食の時刻決定
- 60.4. 水平線俯角測定による三宅島の鉛直線偏差の観測

和歌山大・教育学部・地学教室：高橋清研究室

- 60.1. 新天体望遠鏡装置の設置. (1) 検討経過
- 60.2. 新天体望遠鏡装置の設置. (2) 製造状況
- 60.3. 新天体望遠鏡装置の設置. (3) 観測計画

1986年7月の太陽黒点 ( $g, f$ ) (東京天文台)

1	0,	0	11	—,	—	21	—,	—
2	—,	—	12	—,	—	22	—,	—
3	1,	1	13	—,	—	23	2,	4
4	—,	—	14	1,	13	24	0,	0
5	1,	7	15	—,	—	25	—,	—
6	2,	10	16	—,	—	26	0,	0
7	—,	—	17	—,	—	27	0,	0
8	2,	19	18	2,	5	28	1,	2
9	1,	13	19	1,	13	29	1,	10
10	—,	—	20	—,	—	30	1,	17
(相対数月平均値: 10.5)						31	1,	14

◇ 10月の天文暦 ◇

日	時	記	事
1	19	金星	最大光度
4	4	朔	
7	19	月	最近
8	23	寒露	(太陽黄経 195°)
10	22	上弦	
15	21	金星	留
18	4	望	(月食)
22	7	水星	東方最大離角
23	15	月	最遠
24	2	霜降	(太陽黄経 210°)
26	7	下弦	
31	10	冥王星	合

◇ 10月の日月惑星運行図 ◇

